



目次

VS	2
1. 画面説明	2
表示される分析結果画面	2
2. 活用方法	4
商圈における自店舗の強み・弱みを知る	4
グループ企業の傾向を読む	4



VS



特定の2つの対象を比較分析することができます。
 比較対象は店舗や商圈だけでなく、全国、都道府県という範囲でも比較することが可能です。
 そのため、全国平均や都道府県平均などと自店を比較することで、自店の立ち位置が明確になり、商圈の流動性や特徴が見えてくるので、より広い視点から市場を分析することができます。




1. 画面説明

条件設定より分析を開始すると、以下のような画面が表示されます。

表示される分析結果画面





		名称	説明
① 分 析 タ ブ	評 価 軸	稼働率	稼働率による各分析のグラフを表示します。【客数÷設置台数=稼働率】
		客数	客数による各分析のグラフを表示します。
	切 り 口	推移	「メインエリア」と「比較エリア」を比較して、折れ線グラフで表示します。
		差分	「メインエリア」を「0」とした場合の比較エリアの差分を折れ線グラフで表示します。
		曜日別	曜日別での平均数値を棒グラフで表示します。
		末日別	末日別での平均数値を棒グラフで表示します。
		累計	条件設定で指定した期間のメインエリアと比較エリアの累計を表示します。
表	店舗ごとに分析結果を一覧で表示します。		
条件設定		分析条件を選択します。	
現在設定している条件		表示している分析の条件が表示されています。 各アイコンをクリックすることで変更も可能です。	
マニュアル		V S 機能のマニュアルを表示します。(※別ウィンドウが開きます)	
期間移動		同じ分析条件のまま、選択された期間ごとに表示範囲を移動します。	
縦軸設定		表示するデータ値の範囲を設定します。	
データ出力		分析結果を出力します。	出力項目：   

青文字項目の詳細は、「Enterprise ver.2 基本操作マニュアル」をご確認ください。



2. 活用方法

商圈における自店舗の強み・弱みを知る

自店舗と商圈の平均と比較することで、商圈内での自店舗のポジションが分かってきます。
分析結果をスペック・タイプまで落とし込んでいくと、自店舗の強み弱みが見えてきます。



圧倒的に稼働を上げている 4/16 は、何が影響したのかを知るために「機種ランキング」へスマートジャンプから移ります。



グループ企業の傾向を読む

商圈にライバル企業の新店がオープンした場合、企業の傾向を知ることで対策ができます。
ライバル企業の店舗グループを作成し、曜日別・末日別で分析すると強化している日にちが見えてきます。
単店ではなくグループ全体を見ることで企業の戦略が分かり、対策がしやすくなります。

